

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

Amazon

DynamoDB サービスレベルアグリーメント

最終更新：2022年5月4日

本Amazon DynamoDB サービスレベルアグリーメント（「SLA」）は、Amazon DynamoDB（「DynamoDB」）の利用に適用される方針であり、DynamoDBを利用する各アカウントに個別に適用される。[AWSカスタマーアグリーメント](#)または利用者による本サービスの利用に適用される当社と利用者との間の他の契約（「本件契約」）の契約条件の間に齟齬がある場合は、かかる齟齬の範囲に関してのみ、本SLAの契約条件が適用される。本SLAにおいて使用する用語（英文では大文字で始まるもの）のうち、本SLAで定義されていないものは、本件契約で定められた意味を有するものとする。

サービスコミットメント

AWSは、月次請求期間において、各AWSリージョンのDynamoDBを、(a) グローバルテーブルSLAが適用される場合は99.999%以上、または (b) 標準SLAが適用される場合は99.99%以上の月間稼働率で利用可能にするため、商業上合理的な努力を払うものとする（「サービスコミットメント」）。DynamoDBがサービスコミットメントを満たさない場合、利用者は以下のとおりサービスクレジットを受け取ることができる。

サービスクレジット

サービスクレジットは、任意のAWSリージョンに係る月間稼働率が以下の表に記載される範囲に該当する月次請求期間のDynamoDBに対して利用者が支払う以下の料金のパーセンテージとして計算される。(a)

グローバルテーブルSLAが適用される場合、AWSリージョンのDynamoDBに対して利用者が支払う総額に、他のAWSリージョンの対応するレプリカテーブルに対して利用者が支払う、AWSサイトのAmazon

DynamoDB価格ページの[グローバルテーブル](#)セクションに記載される料金を足した金額、または (b)

標準SLAが適用される場合、該当するAWSリージョンにおけるDynamoDBに対して利用者が支払う総額。

	月間稼働率	サービスクレジット率
グローバルテーブルSLA	99.0%以上、99.999%未満	10%
	95.0%以上、99.0%未満	25%
	95.0%未満	100%
標準SLA	99.0%以上、99.99%未満	10%
	95.0%以上、99.0%未満	25%
	95.0%未満	100%

サービスクレジットは、DynamoDBについて今後別途請求される支払いに対してのみ適用できる。当社は、その裁量において、利用不可状態が発生した請求期間の支払いに利用者が使用したクレジットカードに対して、サービスクレジットを発行することができる。サービスクレジットは、利用者に対し、AWSから返金その他の支払いを受ける権利を与えるものではない。サービスクレジットは、該当する月次請求期間の当該クレジット金額が1米ドル (\$1 USD) を超える場合のみ適用され、発行される。サービスクレジットは譲渡できず、また他のアカウントに充当することはできない。本件契約に別段の規定がない限り、DynamoDBの提供において、当社による利用不可状態、パフォーマンスの不実行、その他不履行が生じた場合、利用者の唯一かつ排他的な救済は、本SLAの契約条件に従いサービスクレジット (該当する場合) を受け取ることである。

クレジットの請求および支払手続

サービスクレジットを受け取るには、[AWSサポートセンターでケースを作成する](#) ことにより、請求 (リクエスト) を提出する必要がある。対象となるには、インシデント発生後、2回目の請求期間の末日までに、以下の情報を添えてクレジットのリクエストを当社に提出しなければならない。

- i. 件名に「SLA Credit Request (SLAクレジットリクエスト) 」という文言
- ii. 利用者がサービスクレジットを請求する対象の請求期間およびAWSリージョン、請求期間における当該AWSリージョンの月間稼働率、請求期間において当該AWSリージョンの可用性が100%未満である場合の5分間のインターバルごとの具体的な日時および可用性

iii.

利用者が主張する停止のエラーを記録するリクエストログ（これらのログ内の機密情報または機微性の高い情報は削除するかアスタリスク（*）で置き換えること）

かかるクレジットリクエストに関する月間稼働率を当社が確認し、サービスコミットメント未満であった場合、当社は、クレジットリクエストが行われた月の翌請求期間内に利用者にサービスクレジットを発行する。上記要件を満たすクレジットリクエストおよびその他の情報を提供しなかった場合、利用者はサービスクレジットを受け取る権利を失う。

DynamoDB SLA例外事由

DynamoDBの利用不可、停止、終了、またはその他のパフォーマンス上の問題が、(i) 不可抗力事由またはDynamoDBの責任分界点を越えるインターネットアクセスもしくは関連する問題を含む、当社の合理的な支配の及ばない要因、(ii) 利用者の作為もしくは不作為、(iii) 利用者がAWSサイトのDynamoDB開発者ガイドに記載されている[ベストプラクティス](#)に従わなかったこと、(iv)

利用者のデータベースワークロードの読み取り容量ユニット（RCU）/書き込み容量ユニット（WCU）が不十分であるためにリカバリ時間が長くなること、(v)

利用者の機器、ソフトウェア、もしくはその他のテクノロジー、(vi)

DynamoDBを利用する利用者の権利を当社が本件契約に従って停止もしくは終了したことのいずれかに起因する場合、サービスコミットメントは適用されないものとする（「DynamoDB SLA例外事由」と総称）。

当社の月間稼働率の計算に明示的に使用される要因以外の要因が可用性に影響を与えている場合には、当社はその裁量において、かかる要因を考慮してサービスクレジットを発行することができる。

定義

- 「可用性」は、エラーが発生することなくDynamoDBにより処理されたリクエストの割合として、5分間のインターバルごとに計算する。所定の5分間のインターバルにリクエストを行わなかった場合、そのインターバルは100%利用可能であると想定される。
 - グローバルテーブルSLA可用性の計算においては、AWSリージョンにおける利用者のすべてのDynamoDBテーブルと、他のAWSリージョンにおける対応するレプリカテーブルに対するすべてのリクエストを考慮する。

- 標準SLA可用性の計算においては、該当するAWSリージョンにおける利用者のすべてのDynamoDBテーブルに対するすべてのリクエストを考慮する。
- 「エラー」とは、AWSサイトのDynamoDBの[一般的なエラー](#)に記載されるとおり、500または503のエラーコードが返されるリクエストをいう。
- 「グローバルテーブルSLA」は、該当するAWSリージョンにおける利用者のすべてのDynamoDBテーブルが、該当する月次請求期間にわたってAWSサイトに記載されるグローバルテーブル（「グローバルテーブル」）の一部であり、シングルAWSリージョンにおいて可用性の問題が生じた場合に利用者がフェイルオーバーに対して合理的な試行を行う場合に適用されるサービスコミットメントをいう。
- 所定のAWSリージョンの「月間稼働率」は、月次請求期間におけるすべての5分間インターバルの可用性を平均して計算する。月間稼働率の測定では、DynamoDB SLA例外事由のいずれかに直接的または間接的に起因するダウンタイムを除外する。
- 「リクエスト」とは、顧客が開始したアクションであり、AWSサイトの[DynamoDB APIリファレンスドキュメント](#)において、[DynamoDB](#)がサポートするものとして特定されているタイプのもをいう。疑義を避けるために付言すると、リクエストには、他の製品またはサービス（Amazon DynamoDB Accelerator、Amazon DynamoDB Streamsなど）に特定されているアクションは含まれない。
- 「サービスクレジット」とは、対象となるアカウントにクレジットされることのある、上記の規定により計算されたドル建てのクレジットをいう。
- 「標準SLA」とは、該当するAWSリージョンにおける利用者のいずれかのDynamoDBテーブルがグローバルテーブルの一部ではないとき、またはグローバルテーブルSLAが別途適用されるがシングルAWSリージョンにおいて可用性の問題が生じた場合に利用者がフェイルオーバーに対して合理的な試行を行わないときに適用されるサービスコミットメントをいう。